

令和 5 年 6 月 14 日現在

機関番号：10101

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2019～2022

課題番号：19H00526

研究課題名(和文) 平安時代漢字字書総合データベースの機能高度化と類聚名義抄注釈の作成

研究課題名(英文) Functional Improvement of Integrated Database of Hanzi Dictionaries in Early Japan and Notes Making on Ruijomyogisho

研究代表者

池田 証壽 (IKEDA, Shoju)

北海道大学・文学研究院・名誉教授

研究者番号：20176093

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 28,300,000円

研究成果の概要(和文)：本研究の目的は、平安時代漢字字書総合データベースに収録する『篆隸万象名義』『新撰字鏡』『類聚名義抄』(図書寮本・観智院本)の本文を校訂し、豊富な和訓によって最も重要度が高い観智院本『類聚名義抄』の注釈を作成することである。その実現のために、高精細カラー版の観智院本『類聚名義抄』によって本文解読を精緻化し、異体字フォントの作成とインターフェースの改良を行ってデータベースの機能高度化をはかり、専門研究者以外の利用を可能とする校訂本文を提供する。その上で、観智院本『類聚名義抄』に関する従前の研究成果と日本古典文学作品での例証の利用を反映させた注釈を作成する。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究の意義は次の4点である。第一に、全文活字翻刻されずに残された重要な日本古辞書の校訂本文作成と公開。最重要の古辞書である観智院本『類聚名義抄』の電子テキスト版の校訂本文を作成してインターネット上に公開した。第二に、近年出版の高精細カラー版による本文解読の精緻化。『新天理図書館善本叢書』(八木書店)に収録の影印本を参照して原文の訂正や書き入れ、墨筆と朱筆の判別を行うことができた。第三に、外国語による論文発表を通して海外における日本古辞書に対する関心の高まりに対する対応した。第四に、人文系諸分野と情報学と連携し学術成果の継承をはかるため、パソコンやタブレット端末での利用を可能とした。

研究成果の概要(英文)：The purpose of this research is to collate and edit the texts of “Tensho Bansho Meigi,” “Shinsen Jikyo,” and “Ruiju Myogisho” (Zushoryo and Kanchi'in editions), which will be included in the Integrated Database of Hanzi Dictionaries in Early Japan (abbreviated as HDIC).

The ultimate goal is to provide an annotated, corrected text of the Kanchi'in edition Ruiju Myogisho, which is considered the most important due to its rich Japanese readings. To achieve this, we will improve the precision of the text transcription through the use of high-resolution color images of the Kanchi'in edition, create variant character fonts, and improve the database's interface to enhance its functionality, allowing non-experts to access the edited text. Additionally, we will create annotations that reflect the findings of previous research on the Kanchi'in edition Ruiju Myogisho and provide examples from other works of Japanese classical literature.

研究分野：日本語学

キーワード：類聚名義抄 篆隸万象名義 新撰字鏡 玉篇 切韻 オープンデータ Unicode GlyphWiki

## 1. 研究開始当初の背景

本研究の学術的背景は、全文活字翻刻されずに残された日本古辞書の存在、近年の高精細カラー版の出版、海外における日本古辞書に対する関心の高まり、情報学との連携による伝統的人文学の継承、これら四つを挙げることができる。

### (1) 全文活字翻刻されずに残された日本古辞書の存在

本研究が対象とする日本の平安時代の古辞書の雄編である観智院本『類聚名義抄』は、国語学国文学の研究において基本参考文献として各種の論著や注釈書に例証として引用され、『日本国語大辞典』(小学館)のような大型国語辞書にもその用例が数多く取り上げられているが、その全文活字翻刻はなされておらず、ここに大きな課題が残されていた。

### (2) 近年の高精細カラー版の出版

『新天理図書館善本叢書』(八木書店)に収録される観智院本『類聚名義抄』は、最新の印刷技術を駆使し、原本の古写本を座右に置くかのような鮮明さを持つ。これを参照して、原文の訂正や書き入れ、墨筆と朱筆の判別なども行って、本文解読の精度を格段に向上させることが可能となった。

### (3) 海外における日本古辞書に対する関心の高まり

近年、日本に伝存する漢字漢語文献に着目した海外の研究成果が数多く出版されるようになった。また、各研究機関が協力して基礎資料・基礎データの整理や活用を連携する動きも活発化している。2018年10月には鄭州大学漢字文明研究センターが盟主となり、中国人民大学、上海交通大学、韓国の慶星大学、ベトナム社会科学院漢喃研究院等が参加して漢字研究センターの連盟を結成された。日本古辞書に関わる研究成果も多く、日本からの情報発信が求められていた。

### (4) 情報学との連携による伝統的人文学の継承

現在、Unicode が普及・定着し、8万以上の漢字を扱うことができる。研究方法に関する技術開発は、急激に進行しており、各種のデジタル・アーカイブが公開され、その利便性が格段に向上している。日本古辞書には膨大な漢字漢語の情報が収録されているが、一般の利用が困難な状況が続いている。これを情報学の手法や成果を用いれば、克服することが可能であろう。

## 2. 研究の目的

本研究の最終目的は、平安時代漢字字書総合データベース(略称 HDIC)に収録する『篆隸万象名義』『新撰字鏡』『類聚名義抄』(図書寮本・観智院本)の本文校訂を成し遂げて、豊富な和訓によって最も重要度が高い観智院本『類聚名義抄』の注釈を作成することである。具体的には次の四点である。

### (1) 本文校訂の精緻化

観智院本『類聚名義抄』を中心にして収録字書の本文校訂の精緻化をはかる。

### (2) データベースの機能高度化

広く一般の利用を容易とするために異体字のフォント作成とそれらを用いたインターフェイスの改良を行ってデータベースの機能高度化をはかる。

### (3) 従前の研究成果と古辞書利用の古典注釈を集約

観智院本に関するこれまでの本文研究の成果と、『万葉集』等日本古典文学作品での例証の利用を反映させた注釈を作成する。

### (4) 全文テキストデータベース・掲出字画像データベース・注釈の提供

国際的共有が可能な形式を保持しながら、現在の ICT の水準で現実的に可能な全文テキストデータベース・掲出字画像データベース・注釈を提供する。

## 3. 研究の方法

### (1) 本文校訂の精緻化

観智院本『類聚名義抄』の高精細カラー版に基づき、本文校訂の精緻化をはかる。対象とする日本古辞書は、見出しとなる掲出項目とその説明である注文から構成される。注文には発音、意義、訓読み、異体字の情報が記載されるので、その注文内容の相違に留意して本文校訂を行う。

### (2) データベースの機能高度化

異体字のフォント作成は、広く利用された実績のある GlyphWiki を用いた。作成したデータは全文翻刻テキストデータを Github などで公開し、パソコンに加えて、タブレット端末での利用が可能となるようインターフェイスの改良を行う。

### (3) 従前の研究成果と古辞書利用の古典注釈を集約

観智院本に関するこれまでの本文研究の成果として、築島裕、望月郁子、草川昇、中村宗彦、小林恭治の業績を中心に参照して解読の注記を加える。日本古典文学作品での例証としては、『万葉集』の観智院本『類聚名義抄』引用を参照する。

### (4) 全文テキストデータベース・掲出字画像データベース・注釈の提供

公開データのライセンスを記述し、他システムでの実装も可能とする。

#### 4. 研究成果

##### (1) データベースの公開

HDIC データベースは、タブ区切り形式データを <https://github.com/shikedu/HDIC> (以下、Github) で公開し、検索システムは、<https://viewer.hdic.jp/> (以下、HDIC Viewer) で利用可能としている。他のシステムとの連携では守岡知彦氏の CHISE との連携を行った。

『篆隸万象名義』は 2016 年 9 月にタブ区切り形式データをインターネットに公開していたが、点検校正を進め、HDIC Viewer の利便性向上をはかるとともに、2022 年 3 月には CHISE と連携して、全文検索と掲出字画像表示を可能とした。『篆隸万象名義』の文字数は掲出字約 16,000 字、注文約 120,000 字である。

『新撰字鏡』は 2018 年 6 月にタブ区切り形式データをインターネットに公開していたが、点検校正を進め、HDIC Viewer の利便性向上をはかるとともに、2022 年 3 月には CHISE と連携して、全文検索と掲出字画像表示を可能とした。『新撰字鏡』の文字数は掲出字約 24,000 字、注文約 190,000 字である。

『類聚名義抄』( 凶書寮本 ) は 2017 年 3 月に全文テキストデータベースの入力が完了しているが、本文形式が極度に複雑であるため、タブ区切り形式データのインターネット公開は実現していない。原文の本文形式を再現するために、LuaLaTeX による組版を試行し、それを訓点語学会 (2022 年 10 月) で報告した。『類聚名義抄』( 凶書寮本 ) の文字数は掲出字約 7,700 字、注文約 130,000 字である。

『類聚名義抄』( 観智院本 ) は 2021 年 3 月にタブ区切り形式データをインターネットに公開し、2023 年 3 月に収録和訓に対するジャパンナレッジ版『日本国語大辞典』の URL 付与データを公開した。『類聚名義抄』( 観智院本 ) の文字数は掲出字約 42,000 字、注文約 310,000 字である。図 1 は Github 公開データの更新例である。

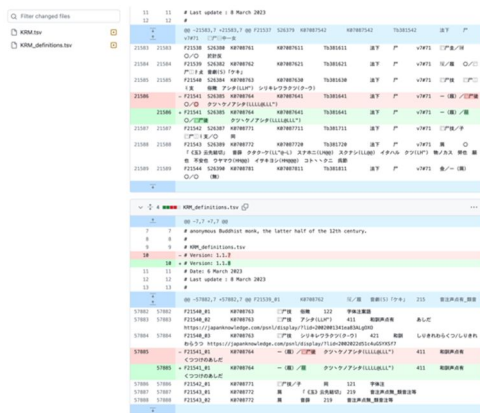


図 1 Github 公開データの更新例



図 2 GlyphWiki による異体字フォント作成

以上を通して、当初の目的である本文校訂の精緻化をほぼ達成した。

##### (2) 『類聚名義抄』( 観智院本 ) データベースの異体字フォントと注釈の作成

『類聚名義抄』( 観智院本 ) のすべての掲出字約 42,000 字を対象にして、上地宏一氏の公開した GlyphWiki のシステムを利用したフォント作成を行って、これを完成させた。当初の目的であるデータベース機能高度化および全文テキストデータベース・掲出字画像データベース・注釈の提供を達成したと評価できる。図 2 は GlyphWiki による異体字フォント作成画面である。

『類聚名義抄』( 観智院本 ) の注文 310,000 字は、字体注、音注、漢文義注、和訓の四大要素からなる。その数は概算して字体注約 13,400、音注約 24,100、漢文義注約 12,600、和訓約 35,400 であり、この四大要素に分類できないものが約 1,300 である。注文の注釈作成は、約 86,800 の注文に対して約 41,600 の注文の注釈を作成した。注文注釈の内訳は、字体注約 430、音注約 23,300、漢文義注約 2,050、和訓約 15,400 である。音注と和訓を重点的に行った。これにより、当初の目的である従前の研究成果と古辞書利用の古典注釈の集約を達成した。

##### (3) 研究成果の公表、シンポジウムの開催

本研究の成果は、国内外の研究会、学会、シンポジウムで積極的に公表し、日本語、英語、中国語による論文の公刊を行った。シンポジウムは、「古辞書・漢字音研究と人文情報学」(2022 年 3 月 10 日) と「古辞書データ共有と拡張」(2023 年 1 月 21 日) をオンライン開催した。

全国学会・研究会では、訓点語学会、人文科学とコンピュータシンポジウム等に参加・発表し、国際学会参加は、2019 年に、国際東方学者会議(東京)、世界漢字学会(京都)、漢文仏典言語学国際学術研討会(中国・桂林)、Digital Humanities 2019(Utrecht・The Netherlands)等で成果を報告したが、2020 年度以降は、オンライン参加であるが数多くの学会発表を行った。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計44件（うち査読付論文 21件 / うち国際共著 2件 / うちオープンアクセス 10件）

1. 著者名 大槻信・山中延之	4. 巻 令和3年度
2. 論文標題 小川義章師覚書類の翻刻（その4） 『高山寺記録 寺史作成の資料』（その1）	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 『高山寺典籍文書総合調査団研究報告論集』	6. 最初と最後の頁 29-48
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池田証寿	4. 巻 令和3年度
2. 論文標題 高山寺蔵本『醍醐等抄』所引『類音決』考（続）	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 『高山寺典籍文書総合調査団研究報告論集』	6. 最初と最後の頁 19-28
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Chifumi Nishioka, Kiyonori Nagasaki	4. 巻 36
2. 論文標題 Understanding IIIF image usage based on server log analysis	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Digital Scholarship in the Humanities	6. 最初と最後の頁 ii210-ii221
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1093/llc/fqab040	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 橋本雄太, 金甫榮, 中村覚, 小風尚樹, 井上さやか, 茂原暢, 永崎研宣	4. 巻 no. 2021
2. 論文標題 写真資料のクラウドアノテーションシステムの開発：『渋沢栄一伝記資料』別巻第10 を事例に	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 じんもんこん2021論文集	6. 最初と最後の頁 132-137
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 王一凡, 渡邊要一郎, 永崎研宣, 下田正弘	4. 巻 no. 2021
2. 論文標題 『續一切經音義』からみる漢文文献の TEI マークアップの課題	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 じんもんこん2021論文集	6. 最初と最後の頁 234-239
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 左藤仁宏, 渡邊要一郎, 永崎研宣, 下田正弘	4. 巻 no. 2021
2. 論文標題 仏教思想の概念体系の記述手法としてのTEI マークアップの現状と課題	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 じんもんこん2021論文集	6. 最初と最後の頁 288-293
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小風尚樹, 中村覚, 永崎研宣, 渡辺美紗子, 戸村美月, 小風綾乃, 清武雄二, 後藤真, 小倉慈司	4. 巻 no. 2021
2. 論文標題 相互運用性を高めた日本歴史資料データ実装: 『延喜式』TEI とIIIF を事例として	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 じんもんこん2021論文集	6. 最初と最後の頁 294-300
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川潤, 永崎研宣, 大向一輝	4. 巻 63巻2号
2. 論文標題 一次史料における時間的コンテキストを含む社会関係記述モデルの提案と実践	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 情報処理学会論文誌	6. 最初と最後の頁 258-268
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20729/00216232	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 吉賀夏子, 堀良彰, 只木進一, 永崎研宣, 伊藤昭弘	4. 巻 63巻2号
2. 論文標題 郷土に残存する江戸期古記録の機械可読化を目的とした市民参加および機械学習による固有表現抽出	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 情報処理学会論文誌	6. 最初と最後の頁 310-323
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20729/00216238	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 永崎研宣, 大向一輝, 下田正弘	4. 巻 63巻2号
2. 論文標題 仏教学のためのデジタル学術編集システムの構築に向けたモデルの提案と実装	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 情報処理学会論文誌	6. 最初と最後の頁 324-334
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20729/00216239v	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大月希望, 大向一輝, 永崎研宣, 佐倉統	4. 巻 2021-CH-126, no. 6
2. 論文標題 デジタル時代における多様な資料継承の仕組みを包括する議論モデルの提案	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 研究報告人文科学とコンピュータ (CH)	6. 最初と最後の頁 1-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 渡邊要一郎, 永崎研宣, 大向一輝, 井野雅文, 村瀬友洋, 朴賢珍, 下田正弘	4. 巻 2021-CH-128, no. 9
2. 論文標題 デジタル法實義林における研究データの共同構築	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 研究報告人文科学とコンピュータ (CH)	6. 最初と最後の頁 1-4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中村覚, 田村隆, 永崎研宣	4. 巻 2021-CH-128, no. 13
2. 論文標題 デジタル源氏物語 (AI画像検索版) : くずし字OCRと編集距離を用いた写本・版本の比較支援システムの開発	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 研究報告人文科学とコンピュータ (CH)	6. 最初と最後の頁 1-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 永崎研宣, 長野壮一, 小風尚樹	4. 巻 2021-CH-128, no. 14
2. 論文標題 人文系学部向け人文情報学 / デジタル・ヒューマニティーズ教育のためのカリキュラムについて	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 研究報告人文科学とコンピュータ (CH)	6. 最初と最後の頁 1-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大槻信	4. 巻 8(2)
2. 論文標題 『新撰字鏡』の序文を読む	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 信州大学人文科学論集	6. 最初と最後の頁 1-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大槻信・山中延之	4. 巻 -
2. 論文標題 小川義章師覚書類の翻刻(その3) 『高山寺史料覚え書』後半	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『令和二年度高山寺典籍文書総合調査団研究報告論集』	6. 最初と最後の頁 26-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大槻信	4. 巻 -
2. 論文標題 天竺までの距離 明恵と大唐天竺里程書	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 東京国立博物館・特別展「国宝 鳥獣戯画のすべて」図録	6. 最初と最後の頁 452-454
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池田証壽	4. 巻 89(5)
2. 論文標題 『篆隸万象名義』の和訓と二反同音例	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 国語国文	6. 最初と最後の頁 1-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池田証壽	4. 巻 2
2. 論文標題 日本古辭書研究的現状與課題	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『首屆跨文化漢字國際研討會“東亞碑刻漢字及文獻研究”論文集』第二輯、社会科学文献出版社	6. 最初と最後の頁 113-126
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 劉冠偉・李媛・池田証壽	4. 巻 -
2. 論文標題 GlyphWikiによる觀智院本類聚名義抄字形の再現	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 じんもんこん2020論文集	6. 最初と最後の頁 203-208
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 池田証壽	4. 巻 13
2. 論文標題 上代仏典音義と玄応一切経音義(二) その後の研究の展開	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ことばの研究	6. 最初と最後の頁 45-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池田証壽	4. 巻 162
2. 論文標題 圍繞《篆隸萬象名義》所據《玉篇》的諸問題	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 北海道大学文学研究院紀要	6. 最初と最後の頁 103-121
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14943/bfhhs.162.1103	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masanao SAIKI; Shoju IKEDA	4. 巻 16
2. 論文標題 Historical Shifts in Hanzi Glyphs: Changed and Unchanged Glyphs in the Hanzi Normative Glyphs (HNG) Database	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of the Faculty of Humanities and Human Sciences, Hokkaido University	6. 最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14943/jfhhs.16.1	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池田証壽	4. 巻 -
2. 論文標題 高山寺蔵本『醍醐等抄』所引『類音決』考	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『令和二年度高山寺典籍文書綜合調査団研究報告論集』	6. 最初と最後の頁 54-67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木慎吾	4. 巻 4
2. 論文標題 古漢語音韻データベース「諸家詩経韻読」の構築	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 外国語教育のフロンティア	6. 最初と最後の頁 1-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 永崎 研宣	4. 巻 4
2. 論文標題 [61] デジタルアーカイブにおけるテキスト検索を考える：みんなで翻刻サーチの構築を手がかりとして	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 デジタルアーカイブ学会誌	6. 最初と最後の頁 s73～s76
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24506/jsda.4.s1_s73	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 永崎 研宣	4. 巻 4
2. 論文標題 [C43] 誰が何をしておくべきなのか？デジタルアーカイブにおける技術の共有と知識の継承を考える	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 デジタルアーカイブ学会誌	6. 最初と最後の頁 241～244
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24506/jsda.4.2_241	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小池俊希；大向一輝；鴻野知暁；永崎研宣	4. 巻 123(2)
2. 論文標題 『日本語歴史コーパス』へのTEI適用に基づく諸本比較：『万葉集』における『読添えのモ』を事例として	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 研究報告人文科学とコンピュータ	6. 最初と最後の頁 1-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡邊 要一郎; 永崎 研宣; 大向 一輝; 下田 正弘	4. 巻 124(4)
2. 論文標題 Pali Text Society版パーリ語文献を対象としたテキスト検索システムの構築	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 研究報告人文科学とコンピュータ	6. 最初と最後の頁 1-4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 永崎研宣; 大向一輝; 下田正弘	4. 巻 124(5)
2. 論文標題 仏教研究におけるテキスト検索の現状と課題	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 研究報告人文科学とコンピュータ	6. 最初と最後の頁 1-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 永崎研宣; 大向一輝; 下田正弘	4. 巻 -
2. 論文標題 仏教文献研究のためのIIIFの活用における諸課題の解決に向けて	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 じんもんこん2020論文集	6. 最初と最後の頁 75-80
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Naoki Kokaze, Kiyonori Nagasaki, Makoto Goto, Yuta Hashimoto, A. Charles Muller and Masahiro Shimoda	4. 巻 12
2. 論文標題 Toward a Model for Marking up Non-SI Units and Measurements	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of the Text Encoding Initiative	6. 最初と最後の頁 1-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4000/jtei.1996	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 大槻信	4. 巻 89(3)
2. 論文標題 『新撰字鏡』の編纂過程	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 国語国文	6. 最初と最後の頁 45-70
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大槻信・山中延之	4. 巻 令和元年度
2. 論文標題 小川義章師覚書類の翻刻(その2) 『高山寺史料覚え書』前半	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 高山寺典籍文書総合調査団研究報告論集	6. 最初と最後の頁 42-54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池田証壽・劉冠偉・鄭門鎬・張馨方・李媛	4. 巻 144
2. 論文標題 観智院本類聚名義抄全文テキストデータベース - その構築方法と掲出字項目数等の計量 -	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 訓点語と訓点資料	6. 最初と最後の頁 105-129
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 李媛・劉冠偉・池田証壽	4. 巻 なし
2. 論文標題 観智院本類聚名義抄に関する作字作業をめぐって	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東洋学へのコンピュータ利用第32回研究セミナー 予稿集	6. 最初と最後の頁 27-48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池田証壽	4. 巻 89(5)
2. 論文標題 『篆隸万象名義』の和訓と二反同音例	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 国語国文	6. 最初と最後の頁 1-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小助川貞次	4. 巻 96(5)
2. 論文標題 訓点の信憑性について	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 国語と国文学	6. 最初と最後の頁 32-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小助川貞次	4. 巻 143
2. 論文標題 敦煌本漢籍における加点の問題について	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 訓点語と訓点資料	6. 最初と最後の頁 15-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 河野貴美子	4. 巻 242
2. 論文標題 平安期における中国古典籍の摂取と利用 空海撰『秘蔵宝鑰』および藤原敦光撰『秘蔵宝鑰鈔』を例に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 アジア遊学242 中国學術の東アジア伝播と古代日本	6. 最初と最後の頁 214-227
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 河野貴美子	4. 巻 なし
2. 論文標題 日本の古典籍および学術文化史から考える中国学の方法論	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 第十回日中学者中国古代史論壇論文集 学際化する中国学	6. 最初と最後の頁 211-228
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 李媛	4. 巻 なし
2. 論文標題 古写本古辞書翻刻における包摂問題について - 篆隸万象名義の玉篇残巻対応部分を中心に -	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東洋学へのコンピュータ利用第32回研究セミナー 予稿集	6. 最初と最後の頁 99-117
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 申雄哲	4. 巻 25
2. 論文標題 A Study on the Substantial Relationship between the Entry and the Definition of Ruiju myogi sho	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The Journal of Chinese Characters	6. 最初と最後の頁 217-230
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14772/CSCCK.2019.25.217	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 賈智	4. 巻 なし
2. 論文標題 初唐字様学文字観新証	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 蘇州大学学报(哲学社会科学版)	6. 最初と最後の頁 168-176
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計58件（うち招待講演 23件 / うち国際学会 35件）

1. 発表者名 大槻 信
2. 発表標題 用例という方法
3. 学会等名 人文知連携共同研究会「人文学の方法論」 第二回研究会『人文学の方法論の多様性』（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大槻 信
2. 発表標題 明恵上人と高山寺の文化財
3. 学会等名 令和3年度 東京国立博物館 連続講座「鳥獣戯画研究の最前線」第1講「鳥獣戯画の伝わった寺 高山寺と明恵上人をめぐる美術」（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大槻 信
2. 発表標題 「平安時代古辞書概説」（訓点語学会古辞書講習会 講師）
3. 学会等名 2021年度訓点語学会古辞書講習会（オンライン開催）（参照： <a href="http://kuntengo.com/training_session/">http://kuntengo.com/training_session/</a> ）（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 鈴木 慎吾
2. 発表標題 漢語音韻史・研究史の両方について体系を理解しつつ検索可能なデータベース群の構築について
3. 学会等名 第87回大阪市立大学中国学会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Shoju Ikeda, Yuan Li
2. 発表標題 Revised text and note making of Chinese-Japanese character dictionaries compiled in early Japan: A case of Ruijumyogisho
3. 学会等名 16th International Conference of the European Association for Japanese Studies(EAJS2021) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yuan li, Guanwei Liu, Shoju Ikeda
2. 発表標題 Issues around glyph creation of undefined Chinese characters in Kanchi ' inbon Ruijumyogisho
3. 学会等名 EI ' Manuscript 2021 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 池田証寿
2. 発表標題 觀智院本類聚名義抄數據庫的構建
3. 学会等名 第三屆跨文化漢字國際研討會 東亞寫本漢字及文獻研究 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 李媛、池田証壽
2. 発表標題 篆隸萬象名義中的同音反切重出
3. 学会等名 世界漢字學會第八屆年會 “人工智能及漢字研究領域的擴展” (国際学会)
4. 発表年 2021年



1. 発表者名 Kiyonori Nagasaki
2. 発表標題 Towards an Ecosystem for Buddhist Studies in the Digital Era
3. 学会等名 International Webinar on Digital Humanities GOLDEN JUBILEE CELEBRATIONS I n SESHADRIPURAM EVENING DEGREE COLLEGE (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 永崎研宣
2. 発表標題 人文学におけるデジタル技術活用の現在：デジタル・ヒューマニティーズの動向を通じて
3. 学会等名 新潟大学人文学部主催講演会「デジタルヒューマニティーズ：人文学とデータサイエンスの融合とその未来」(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Kiyonori Nagasaki
2. 発表標題 ADHO, JADH and Asian DH
3. 学会等名 DHARTI 2022 Conference DHARTI (Digital Humanities Alliance for Research and Teaching Innovations) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yoichiro Watanabe, Kiyonori Nagasaki, Hyunjin Park, Yifan Wang, Tomohiro Murase, Masayoshi Watanabe, Norimichi Yajima, Yoshihiro Sato, Yui Sakuma, Xinxing Yu, Shumpei Katakura, Masahiro Shimoda, Ikki Ohmukai
2. 発表標題 Toward a Structured Description of the Footnotes of the Taisho Tripitaka
3. 学会等名 TEI Conference and Members' Meeting 2021 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Susanna Alles-Torrent, Hugh Cayless, Gimena del Rio Riande, Luis Meneses, Kiyonori Nagasaki, Martina Scholger
2. 発表標題 I18n: Building a TEI Multilingual Community
3. 学会等名 TEI Conference and Members' Meeting 2021 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 池田証寿
2. 発表標題 日本古辞書を読むための資料と実際 ( 1 )
3. 学会等名 2021年度古辞書講習会、訓点語学会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 池田証寿
2. 発表標題 日本古辞書を読むための資料と実際 ( 2 )
3. 学会等名 2021年度古辞書講習会、訓点語学会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 池田証寿
2. 発表標題 日本古辞書を読むための資料と実際 ( 3 )
3. 学会等名 2021年度古辞書講習会、訓点語学会 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 大槻信
2. 発表標題 禁断の中古辞書文献 『新撰字鏡』の序文を読む
3. 学会等名 信州大学日本語学夏季セミナー（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大槻信
2. 発表標題 平安時代古辞書概説
3. 学会等名 訓点語学会古辞書講習会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 鈴木慎吾
2. 発表標題 漢語上古音データベース「諸家詩經韻讀」の構築について（上古音入門講座を兼ねて）
3. 学会等名 「平安時代漢字字書総合データベースの機能高度化と類聚名義抄注釈の作成」研究集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Cayless, Hugh; Scholger, Martina; Bermudez Sabel, Helena; Meneses, Luis; del Rio Riande, Gimena; Nagasaki, Kiyonori
2. 発表標題 Communicating the TEI Across Linguistic and Cultural Boundaries
3. 学会等名 Digital Humanities 2020（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Nagasaki, Kiyonori; Ohmukai, Ikki; Tomabechi, Toru; Shimoda, Masahiro
2. 発表標題 An Improvement of Collaborative Digital Scholarly Edition with IIIF
3. 学会等名 Digital Humanities 2020 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kiyonori Nagasaki
2. 発表標題 Buddhist Studies with Open Science: An Attempt in Asian Studies
3. 学会等名 AAS-in-Asia 2020 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kiyonori Nagasaki
2. 発表標題 Leveraging IIIF for Buddhist Studies
3. 学会等名 2020 Korea-Japan Symposium on Digital Humanities "Zooming-in and Zooming-out Principles and Methods in Digital Humanities" (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 永崎研宣
2. 発表標題 コンテンツを起点とする情報の組織化の可能性
3. 学会等名 日本図書館研究会情報組織化グループ月例研究会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 田村隆, 中村覚, 中村美里, 永崎研宣
2. 発表標題 「デジタル源氏物語」の構築と展開
3. 学会等名 第6回日本語の歴史的典籍国際研究集会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 永崎研宣
2. 発表標題 SAT大蔵経データベースにおけるIIIFとTEIの活用
3. 学会等名 協働型アジア研究オンラインセミナー「IIIFに準拠した画像公開の方法とTEIとの連携」東京大学附属図書館アジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門 (U-PARL) 等共催 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 永崎研宣
2. 発表標題 人文学とデジタル人文学 教育をめぐる接点
3. 学会等名 京都大学文学研科公開シンポジウム「デジタル人文学の世界へ」 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kiyonori Nagasaki, A. Charles Muller, Toru Tomabechi, Masahiro Shimoda
2. 発表標題 A Collaborative System for Digital Research Environment via IIIF
3. 学会等名 Digital Humanities 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kiyonori Nagasaki, Chifumi Nishioka
2. 発表標題 Visualizing which parts of IIIF images are looked at by users
3. 学会等名 IIIF conference 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kiyonori Nagasaki, Masahiro Shimoda
2. 発表標題 Alignment of Full Text Database with IIIF images
3. 学会等名 IIIF conference 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kiyonori Nagasaki
2. 発表標題 Recent Trends of Digital Resources for Japanese Studies
3. 学会等名 2019 EAJRS (European Association of Japanese Research Specialists) conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 鈴木慎吾
2. 発表標題 中国の韻書
3. 学会等名 第64回国際東方学会議 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大槻信
2. 発表標題 中国辞書と日本辞書 『新撰字鏡』の編纂過程
3. 学会等名 第64回国際東方学会議 (ICES) SYMPOSIUM II 「中国中古期と日本の古辞書研究の現在」 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 池田証壽
2. 発表標題 平安時代漢字字書総合データベースの公開に向けて
3. 学会等名 第57回口訣学会夏季全国学術大会 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 池田証壽
2. 発表標題 日本古辭書數據庫の構建與漢字研究
3. 学会等名 世界漢字學會第七屆年會 “面向世界的漢字研究重要領域及課題” 國際學術研討會 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 池田証壽
2. 発表標題 《類聚名義抄》資料庫の構建及其公開
3. 学会等名 第十三屆漢文佛典語言學國際學術研討會 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 池田証壽
2. 発表標題 圍繞《篆隸萬象名義》所據《玉篇》的諸問題
3. 学会等名 第二屆跨文化漢字國際研討會“漢字與道文化世界傳播”(國際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 池田証壽
2. 発表標題 高山寺本篆隸萬象名義の和訓と類聚名義抄
3. 学会等名 第120回訓点語学会研究発表会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 池田証壽
2. 発表標題 天治本『新撰字鏡』
3. 学会等名 漢デジ2019 日本古辞書解読セミナー
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 池田証壽・鄭門鎬・張馨方
2. 発表標題 觀智院本『類聚名義抄』
3. 学会等名 漢デジ2019 日本古辞書解読セミナー
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 李媛・劉冠偉・池田証壽
2. 発表標題 観智院本類聚名義抄に関する作字作業をめぐって
3. 学会等名 東洋学へのコンピュータ利用 第32回研究セミナー（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 田島孝治・堤智昭・高田智和・小助川貞次
2. 発表標題 移点ツールの仮名点・語順点への拡張
3. 学会等名 第120回人文科学とコンピューター研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 堤智昭・田島孝治・高田智和・小助川貞次
2. 発表標題 ヲコト点図共有・比較プラットフォームの実装
3. 学会等名 人文科学とコンピュータシンポジウム（じんもんこん）2019
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 河野貴美子
2. 発表標題 古代、中世日本書法：形式、人物、故事
3. 学会等名 北京大学中文系 特邀專家講課系列（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 河野貴美子
2. 発表標題 奈良・平安期日本の学問・教育・課試
3. 学会等名 1075-1919年越南儒学科学百年回顧（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 李媛
2. 発表標題 篆隸萬象名義の本文研究
3. 学会等名 世界漢字學會第七屆年會“面向世界的漢字研究重要領域及課題”國際學術研討會（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 李媛
2. 発表標題 關於日本古辭書中的重出字問題的論考 以《篆隸萬象名義》與《新撰字鏡》為例
3. 学会等名 第十三屆漢文佛典語言學國際學術研討會（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 李媛
2. 発表標題 關於高山寺本《篆隸萬象名義》中的文字脩訂 以原本調查為基礎一
3. 学会等名 第二屆跨文化漢字國際研討會“漢字與道文化世界傳播”（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 LI Yuan
2. 発表標題 Terminology issues related to structural descriptions of early hanzi dictionaries: Focusing on Tenreibanshomeigi
3. 学会等名 The First International Conference on Linguistic Terminology, Glossing and Phonemicization (LiTGaP 2020) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 李媛
2. 発表標題 古写本古辞書翻刻における包摂問題について - 篆隸万象名義の玉篇残巻対応部分を中心に -
3. 学会等名 東洋学へのコンピュータ利用 第31回研究セミナー
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 李媛
2. 発表標題 高山寺本『篆隸萬象名義』
3. 学会等名 漢デジ2019 日本古辞書解読セミナー
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 申雄哲
2. 発表標題 日本古辞書熟語データベースの構築
3. 学会等名 韓国日本語文化學會 2019年度春季國際學術大會 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 申雄哲
2. 発表標題 圖書寮本《類聚名義抄》中の詞條與注釋的實質性關係研究
3. 学会等名 世界漢字學會第七屆年會（國際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 申雄哲・劉冠偉
2. 発表標題 圖書寮本《類聚名義抄》數據庫的構建與檢索系統的公開（圖書寮本類聚名義抄のデータベース構築と檢索システムの公開）
3. 学会等名 第十三屆漢文佛典語言學國際學術研討會（國際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 澤田達也
2. 発表標題 中国の字書・音義書
3. 学会等名 第64回國際東方學者會議（ICES）SYMPOSIUM II「中国中古期と日本の古辭書研究の現在」（國際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岡田一祐
2. 発表標題 TEIによる辭書符號化の動向と課題：TEI-Lex0プロジェクトは古辭書に應用できるのか？
3. 学会等名 漢デジ2019（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 賈智
2. 発表標題 敦煌出土字様学著作與“Hanzi Normative Glyphs database”
3. 学会等名 世界漢字学会第七屆年會（國際學會）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 賈智
2. 発表標題 敦煌出土字様学著作字級分類意識再探
3. 学会等名 第二屆跨文化漢字國際研討會（國際學會）
4. 発表年 2019年

〔圖書〕 計12件

1. 著者名 大槻信ほか	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東京国立博物館	5. 総ページ数 472
3. 書名 東京国立博物館・特別展「国宝 鳥獸戯画のすべて」図録	

1. 著者名 池田証寿	4. 発行年 2021年
2. 出版社 朝倉書店	5. 総ページ数 196
3. 書名 シリーズ 日本語の語彙 2 古代の語彙 大陸人・貴族の時代、(編者)飛田良文・佐藤武義、(分担執筆の章名)音義書の語彙	

1. 著者名 小風尚樹、小川潤、纒田宗紀、長野壮一、山中美潮、宮川創、大向一輝、永崎研宣（編）	4. 発行年 2021年
2. 出版社 文学通信	5. 総ページ数 496
3. 書名 一般財団法人人文情報学研究所監修『欧米圏デジタル・ヒューマニティーズの基礎知識』，全体の企画編集	

1. 著者名 李媛・劉冠偉・池田証壽	4. 発行年 2020年
2. 出版社 高麗大藏經研究所	5. 総ページ数 409
3. 書名 『漢文佛典の言語學的研究』（梁英梅・李智瑛編、「《新撰字鏡》數據庫的構建及其公開」を分担執筆）	

1. 著者名 池田証壽	4. 発行年 2021年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 432
3. 書名 『日本語文字論の挑戦：表記・文字・文献を考えるための17章』（加藤重広・岡墻裕剛編、「漢字字体研究と日本古辞書データベースの構築」を分担執筆）	

1. 著者名 永崎研宣	4. 発行年 2019年
2. 出版社 樹村房	5. 総ページ数 238
3. 書名 日本の文化をデジタル世界に伝える（永崎研宣著、京都大学人文科学研究所・共同研究班「人文学研究資料にとってのWebの可能性を再探する」編）	

1. 著者名 永崎研宣	4. 発行年 2019年
2. 出版社 文学通信	5. 総ページ数 383
3. 書名 デジタル学術空間の作り方 仏教学から提起する次世代人文学のモデル（下田正弘、永崎研宣編、全体の編集及びpp. 25-140を分担執筆）	
1. 著者名 池田証壽	4. 発行年 2020年
2. 出版社 汲古書院	5. 総ページ数 527
3. 書名 高山寺経蔵の形成と伝承（高山寺典籍文書総合調査団編、「高山寺の古辞書音義」を分担執筆）	
1. 著者名 大槻信・山中延之	4. 発行年 2020年
2. 出版社 汲古書院	5. 総ページ数 527
3. 書名 高山寺経蔵の形成と伝承（高山寺典籍文書総合調査団編、「小川義章師覚書類の概要と翻刻 歴代住職関連記事を中心に」を分担執筆）	
1. 著者名 石塚晴通・小助川貞次	4. 発行年 2019年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 100
3. 書名 国宝漢書楊雄伝第五十七（京都国立博物館編、「本文・訓点解題」を分担執筆）	

1. 著者名 石塚晴通・小助川貞次	4. 発行年 2020年
2. 出版社 汲古書院	5. 総ページ数 527
3. 書名 高山寺経蔵の形成と伝承（高山寺典籍文書総合調査団編、「高山寺蔵論語集解（清原本・中原本）解題・影印」を分担執筆）	

1. 著者名 漢文訓読研究会、呉美寧、朴鎮浩、申雄哲、鄭門鎬ほか11名	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Bakmunsa	5. 総ページ数 640
3. 書名 日本の中庸章句訓点本の解読と翻訳：東京大学国語研究室所蔵『中庸章句』を対象に	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>平安時代漢字字書研究 池田証壽  <a href="https://hdic.jp">https://hdic.jp</a>          HDIC Database Project 池田証壽  <a href="https://github.com/shikeda/HDIC">https://github.com/shikeda/HDIC</a>          HDIC Viewer 平安時代漢字字書総合データベース検索インタフェース  <a href="https://viewer.hdic.jp">https://viewer.hdic.jp</a>          HDIC Project 観智院本類聚名義抄 池田証壽  <a href="https://shikeda.github.io">https://shikeda.github.io</a>          平安時代漢字字書研究  <a href="https://hdic.jp/">https://hdic.jp/</a>          平安時代漢字字書研究  <a href="https://hdic.jp">https://hdic.jp</a>          HDIC Viewer 平安時代漢字字書総合データベース検索インタフェース  <a href="https://hdic2.let.hokudai.ac.jp">https://hdic2.let.hokudai.ac.jp</a>          HDIC Database Project  <a href="https://github.com/shikeda/HDIC">https://github.com/shikeda/HDIC</a>          篇韻データベース  <a href="http://suzukish.s252.xrea.com/search/">http://suzukish.s252.xrea.com/search/</a></p>
---

6. 研究組織			
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	鈴木 慎吾  (SUZUKI Singo)  (20513360)	大阪大学・言語文化研究科（言語社会専攻、日本語・日本文化専攻）・准教授       (14401)	



## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	永崎 研宣 (NAGASAKI Kiyonori)  (30343429)	一般財団法人人文情報学研究所・人文情報学研究部門・主席 研究員  (82683)	
研究分担者	大槻 信 (OTSUKI Makoto)  (60291994)	京都大学・文学研究科・教授  (14301)	
研究分担者	斎木 正直 (SAIKI Masanao)  (30609037)	北海道大学・文学研究院・専門研究員  (10101)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	小助川 貞次 (KOSUKEGAWA Teiji)		
研究協力者	河野 貴美子 (KONO Kimiko)		
研究協力者	澤田 達也 (SAWADA Tatsuya)		
研究協力者	高田 智和 (TAKADA Tomokazu)		

## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	藤本 灯  (FUJIMOTO Akari)		
研究協力者	賈 智  (JIA Zhi)		
研究協力者	岡田 一祐  (OKADA Kazuhiro)		
研究協力者	申 雄哲  (SHIN Woongchul)		
研究協力者	李 媛  (LI Yuan)		
研究協力者	劉 冠偉  (LIU Guanwei)		

## 7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計1件

国際研究集会 シンポジウム「古辞書・漢字音研究と人文情報学」Dictionaries in Early Japan, Sino-Japanese research and Digital humanities Symposium	開催年 2022年～2022年
---	--------------------

## 8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------